

経営協議会の学外委員からの意見を 法人運営の改善に活用した、主な取組事例

会議	意 見	取 組
第44回	名古屋大学基金充実への取組	名古屋大学基金のウェブサイトへのアクセスを容易にするため、基金の新聞広告にQRコードを掲載（平成25年度、なお実施は26年度）
第41回	外部人材の活用と広報の重要性	広報渉外課の設置を検討し、同課課長を公募により民間から採用することを決定（平成25年度、なお課の設置等は26年度）
第37回	教職員の、大学への貢献度に応じた処遇	教員の研究・教育活動に関するインセンティブ制度を制定（平成24年度、なお適用は25年度から）
第35回	教育における大学間連携	愛知教育大学、三重大学と連携して文部科学省「国立大学改革強化推進補助金」を獲得し「アジアを中心とする国際人材育成と大学連携による国際化の加速度的推進」事業に着手（平成24年度）
第33回	大学間連携の取組み	愛知、岐阜、三重、静岡の8国立大学の間で「東海地区国立大学法人事務連携協定」を締結（平成23年度）
第32回	若手研究者育成プログラムYLC (Young Leaders Cultivation) の募集対象を学外に広げる	YLC-tとして学外出身者も募集（平成23年度）
第24回	留学生の獲得には、ビザ、課税所得、宿舍費等におけるインセンティブが必要	新たな留学生宿舍を建設（平成23年度完成）
第24回	全国七大学総合体育大会の実施に向けた大学構内の環境整備の充実	陸上競技場トラックの改修、馬場の整備、グリーンベルトの整備等を実施（平成21年度）
第19回	評価に関する作業時間等の情報の提示	評価業務の作業時間およびコスト換算結果を（第21回経営協議会で）報告（平成20年度）
第15回	経営協議会の開催場所の変更、資料の白黒化等による経費の削減	経営協議会の開催場所の見直しを行い、一部変更、複写機の包括役務契約等によりカラー2色刷りを白黒と同一価格化、会議資料の原則白黒（又は2色カラー）化（平成19年度）
第11回	大学院博士後期課程の定員充足率向上に向けた具体的施策の実施	大学院博士後期課程の優秀な学生に対して、経済的な支援を行う「名古屋大学学術奨励賞奨学金」を創設（平成18年度）
第9回	企業的な人事評価制度の導入	事務職員を対象とした人事評価システムを検討し、平成19年度からの試行を決定（平成18年度）

第4回	大学におけるコンプライアンス	意見に対して平成17年度計画案を修正し、法務室においてコンプライアンスの向上を目指して管理職員向けに研修会を実施（平成17年度）
第1回 第4回	基金の創設、民間資金の導入	教育・研究環境の基盤整備を行うため、創立70周年記念事業の一環として「名古屋大学基金」を創設（平成17年度）
第1回	民間の経営手法の導入	評価企画室において、平成17・18年度総長裁量経費を活用して民間企業等のマネジメントに関する調査・分析を行い、その成果を事務局職員等を対象とした研修に活用（平成18年度）
第1回	経営の組織化・強化、業務の効率化	総長の下で教職員が一体となり、大学運営上の横断的な課題に関し企画立案及び調整を行う組織として「総合企画室」を設置（平成18年度）